



ユーザ デバイス プロファイル テンプレート

この章では、ユーザ デバイス プロファイルの作成および変更について説明します。

- [ユーザ デバイス プロファイル テンプレートの検索 \(1 ページ\)](#)
- [ユーザ デバイス プロファイル一括管理ツール \(BAT\) テンプレートの作成 \(2 ページ\)](#)
- [BAT スプレッドシートのユーザ デバイス プロファイル テンプレート フィールドの説明 \(4 ページ\)](#)
- [ユーザ デバイス プロファイル BAT テンプレートの変更 \(7 ページ\)](#)

ユーザ デバイス プロファイル テンプレートの検索

複数のユーザ デバイス プロファイル (UDP) テンプレートが存在する場合があるため、特定の基準に基づいて特定の UDP テンプレートを Cisco Unified Communications Manager データベース内で検索できます。



- (注) ブラウザセッションでの作業中に、検索/一覧表示の検索設定がクライアントマシン上の Cookie に保存されます。他のメニュー項目に移動した後でこのメニュー項目に戻った場合や、ブラウザを閉じてから新しいブラウザウィンドウを開き直した場合は、手動で検索を変更するまで、Cisco Unified Communications Manager の検索設定が保持されます。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザデバイスプロファイル (User Device Profiles)] > [ユーザデバイスプロファイル テンプレート (User Device Profile Template)] の順に選択します。

[UDP テンプレートの検索/一覧表示 (Find and List UDP Templates)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウンリスト ボックスを使用してテンプレートを検索します。

ステップ 2 最初の [UDP テンプレートの検索 (Find UDP Templates where)] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- プロファイル名 (Profile Name)
- プロファイルの説明 (Profile Description)
- [デバイスタイプ (Device Type)]

2 番目の [UDP テンプレートの検索 (Find UDP Templates where)] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- ~で始まる
- ~を含む
- 次の文字列と完全に一致する
- 次の文字列で終わる
- 空である
- ~が空ではない

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索 (Find)] をクリックします。

ヒント データベースに登録されているすべての UDP テンプレートを検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

検出されたテンプレートのリストが次の分類で表示されます。

- 名前
- 説明
- デバイスタイプ (Device Type)
- [プロファイルタイプ (Profile Type)]

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致するテンプレート名をクリックします。
[UDP テンプレートの設定 (UDP Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ユーザ デバイス プロファイル一括管理ツール (BAT) テンプレートの作成

テンプレートを作成し、ユーザ デバイス プロファイルを一括して追加できます。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザデバイスプロファイル (User Device Profiles)] > [ユーザデバイスプロファイルテンプレート (User Device Profile Template)] の順に選択します。

ステップ 2 [新規追加] をクリックします。

ステップ 3 [デバイスタイプ (Device Type)] ドロップダウンリスト ボックスから、ユーザー デバイス プロファイルのモデルを選択します。[次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 4 個別のユーザデバイスプロファイルテンプレートに関するデータを、スプレッドシートに別々の行を使用して入力します。すべての必須フィールドと関連するオプションフィールドに値を入力します。

各列の見出しではフィールドの長さが指定され、また必須であるか、オプションであるかも指定されます。フィールドの説明については、「[表 1: BAT スプレッドシート内のユーザ デバイス プロファイル テンプレートに関するフィールドの説明 \(4 ページ\)](#)」を参照してください。

(注) デバイスのモデルによっては、一部のフィールドが表示されないことがあります。

ヒント [ログイン ユーザ ID (Login User ID)] フィールドの下にある [ログイン ユーザ ID の選択 (Select Login User ID)] リンクを選択すると、有効なログインユーザ ID を見つけるのに役立つ機能を利用できます。別のダイアログボックスがポップアップ表示されます。使用するログイン ユーザ ID の最初の何文字かを [ログイン ユーザ ID (Login User ID)] フィールドに入力すると、入力したパターンに一致するすべてのログインユーザ ID が [選択されたログインユーザ ID (Selected login user ID)] フィールドに表示されます。該当する ID を選択し、[OK] をクリックします。

ステップ 5 必要に応じて、[プレゼンテーションインジケータを無視 (内線コールのみ) (Ignore Presentation Indicators (internal calls only))] チェックボックスをオンにします。

ステップ 6 DND 機能を有効にする必要がある場合は、[応答不可 (Do Not Disturb)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 7 [DND オプション (DND Option)] ドロップダウンリストから [DND] オプションを選択します。

ステップ 8 [DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] ドロップダウンリストから [DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] オプションを選択します。

- [なし (None)] : 着信コールを通知しない場合は、このオプションを選択します。
- [無効 (Disable)] : DND モードのときに、着信コールの通知を無効にする場合は、このオプションを選択します。
- [フラッシュのみ (Flash only)] : DND モードのときに、デバイスを点滅させる場合は、このオプションを選択します。
- [ビープ音のみ (Beep Only)] : DND モードのときに、デバイスでビープ音を鳴らす場合は、このオプションを選択します。

ステップ 9 [クラスタ間エクステンションモビリティの CSS (Extension Mobility Cross Cluster CSS)] ドロップダウンリストから [クラスタ間エクステンションモビリティの CSS (Extension Mobility Cross Cluster CSS)] を選択します。

ステップ 10 [機能管理ポリシー (Feature Control Policy)] ドロップダウンリストから [機能管理ポリシー (Feature Control Policy)] を選択します。

(注) このフィールドは、RoundTable 電話機の場合にのみ表示されます。

ステップ 11 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 12 選択する電話ボタンテンプレートに応じて、回線、短縮ダイヤル設定、登録済み Cisco IP Phone サービス設定、ビジーランプフィールド短縮ダイヤル設定を追加するためのリンクが表示されます。

一部の Cisco Unified IP Phone モデルでは、Cisco Unified IP Phone サービスや短縮ダイヤルをテンプレートに追加することができます。

関連トピック

[電話テンプレート](#)

BAT スプレッドシートのユーザ デバイス プロファイル テンプレート フィールドの説明

次の表で、BAT スプレッドシート内のすべてのユーザ デバイス プロファイル テンプレート フィールドについて説明します。



(注) デバイスのモデルによっては、一部のフィールドが表示されない場合があります。

表 1: BAT スプレッドシート内のユーザ デバイス プロファイル テンプレートに関するフィールドの説明

フィールド	説明
ユーザ デバイス プロファイル テンプレート名 (User Device Profile Template Name)	デバイス プロファイル名の固有 ID を 50 文字以内で入力します。
説明	UDP テンプレートの説明を入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、山カッコ (<>) は使用できません。
[ユーザ保留音のソース (User Hold Audio Source)]	この IP フォンまたは CTI ポートのグループに使用されるユーザ保留音源を入力します。 ユーザ保留音源は、ユーザがコールを保留にしたときに再生される保留音の音源を特定します。

フィールド	説明
[User Locale (ユーザ ロケール)]	この IP Phone のグループに関連付ける国/地域と言語の組み合わせを入力します。 この選択項目によって、このユーザの文化に依存する属性と、Cisco Unified Communications Manager のユーザ ウィンドウおよび電話機でユーザに表示される言語が決まります。
[電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)]	このプロファイルの電話ボタン テンプレートを選択します。
[ソフトキー テンプレート (Softkey Template)]	このグループのすべての電話機で使用されるソフトキー テンプレートを入力します。
[プライバシー (Privacy)]	このプロファイルの適切なプライバシー オプションを選択します。プライバシーが必要なデバイスごとに、[プライバシー (Privacy)] ドロップダウン リスト ボックスで [オン (On)] を選択します。
ワンボタン割り込み (Single Button Barge)	ワンボタン割り込み機能に関する適切なオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [オフ (Off)] : この設定は、ワンボタン割り込み/C 割り込み機能を無効にします。ただし、通常の割り込みまたは C 割り込み機能は引き続き動作します。 • [割込 (Barge)] : この設定は、ワンボタン割り込み機能を有効にします。 • [C割込 (cBarge)] : この設定は、ワンボタン C 割り込み機能を有効にします。 • [デフォルト (Default)] : この設定は、サービスパラメータの Single Button Barge/cBarge の設定を使用します。
複数ライン同時通話 (Join Across Lines)	複数ライン同時通話に関する適切なオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [オフ (Off)] : 複数ライン同時通話を無効にします。 • [オン (On)] : 複数ライン同時通話を有効にします。 • [デフォルト (Default)] : サービスパラメータの Join Across Lines の設定を使用します。
[常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line)]	[常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line)] 設定として、次のいずれかの値を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • オン • 消灯 • デフォルト

フィールド	説明
ボイス メッセージに常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line for Voice Message)	<p>[ボイスメッセージには常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line for Voice Message)] 設定として、次のいずれかの値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オン • 消灯 • デフォルト
[MLPP通知 (MLPP Indication)]	<p>MLPP 優先コールの発信時にデバイスが優先トーンを再生できるかどうかを指定するには、次のいずれかの値を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デフォルト (Default)] : デバイス プールから MLPP 通知を引き継ぎます。 • [オフ (Off)] : MLPP 通知トーンを送信しません。 • [オン (On)] : MLPP 優先コールの通知を送信します。
MLPP Preemption	<p>MLPP 優先コールの発信時に進行中のコールをデバイスがプリエンプション処理できるかどうかを指定するには、次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デフォルト (Default)] : デバイス プールから MLPP プリエンプション設定を引き継ぎます。 • [無効 (Disable)] : MLPP 優先コールの発信時にコールをプリエンプション処理しません。 • [強制 (Forceful)] : MLPP 優先コールの発信時に進行中のコールをプリエンプション処理します。 <p>(注) [MLPPプリエンプション (MLPP Preemption)] が [強制 (Forceful)] に設定されているときは、デバイスの [MLPP 通知 (MLPP Indication)] を [オフ (Off)] に設定しないでください。</p>
[MLPPドメイン (MLPP Domain)]	<p>このデバイスに関連付けられる MLPP ドメインを表す 16 進数値を入力します。空白または 0 ~ FFFFFFFF の値にする必要があります。</p>
拡張モジュール情報 (Expansion Module Information)	<p>[モジュール 1 (Module 1)] および [モジュール 2 (Module 2)] について、拡張モジュールのタイプ (電話機に取り付けられている場合) または [なし (<None>)] を選択します。</p>

フィールド	説明
ログイン ユーザ ID (Login User ID)	<p>デフォルト プロファイル用のログイン ユーザ ID を入力します。ユーザがユーザ デバイス プロファイルからログアウトすると、ユーザ デバイス プロファイルはこのログイン ユーザ ID に自動的にログインして、デフォルト プロファイルを使用します。</p> <p>(注) [ログイン ユーザ ID (Login User ID)] フィールドの下にある [ログイン ユーザ ID の選択 (Select Login User ID)] リンクを選択すると、有効なログイン ユーザ ID を見つけるのに役立つ機能を利用できます。別のダイアログボックスがポップアップ表示されます。使用するログイン ユーザ ID の最初の何文字かを [ログイン ユーザ ID (Login User ID)] フィールドに入力すると、入力したパターンに一致するすべてのログイン ユーザ ID が [選択されたログイン ユーザ ID (Selected login user ID)] フィールドに表示されます。該当する ID を選択し、[OK] をクリックします。</p>

ユーザ デバイス プロファイル BAT テンプレートの変更

同じデバイスに関する 2～3 個のフィールドだけを変更したい場合には、既存の BAT テンプレートのプロパティを変更することで対応できます。

手順

- ステップ 1 変更する UDP テンプレートを検索します。
- ステップ 2 表示されたテンプレートのリストから、変更するテンプレート名をクリックします。選択したテンプレートの詳細が [UDP テンプレートの設定 (UDP Template Configuration)] ウィンドウに表示されます。
- ステップ 3 それが変更するテンプレートであることを確認します。
- ステップ 4 必要に応じて、テンプレート フィールド内の詳細を変更します。
- ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックして、既存のテンプレートの変更内容を保存します。

関連トピック

[ユーザ デバイス プロファイル テンプレートの検索 \(1 ページ\)](#)

ユーザ デバイス プロファイル テンプレートのコピー

一部のフィールドだけを変更したい場合は、テンプレートのプロパティを新しいテンプレートにコピーできます。



(注) 作成する新しいテンプレートは、Cisco IP ユーザー デバイス プロファイル モデル 7960 など、元のテンプレートと同じデバイスタイプである必要があります。

次の手順を使用して、既存の BAT テンプレートをコピーします。

手順

ステップ 1 コピーする UDP テンプレートを検索します。

ステップ 2 表示されたテンプレートのリストから、コピーするテンプレート名を選択します。

選択したテンプレートの詳細が [UDP テンプレートの設定 (UDP Template Configuration)] ウィンドウに表示されます。

(注) コピーするテンプレートに対応する [コピー (Copy)] 列内のアイコンをクリックすることによって、テンプレートをコピーすることもできます。

ステップ 3 それがコピーしたいテンプレートであることを確認してから [コピー (Copy)] をクリックします。
テンプレートが複製され、コピーが作成されます。コピーでは、元のテンプレートで指定されていたすべての値が複製されます。

ステップ 4 [ユーザ デバイス プロファイル テンプレート名 (User Device Profiles Template Name)] フィールドに、英数字 50 文字以内で新しいテンプレート名を入力します。

ステップ 5 必要に応じて、新しいテンプレートのフィールドを更新します。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。BAT に追加されたテンプレートは、左側の [テンプレート (Templates)] 列に表示されます。

関連トピック

[ユーザ デバイス プロファイル テンプレートの検索 \(1 ページ\)](#)

ユーザ デバイス プロファイル テンプレートの削除

不要になった BAT ユーザ デバイス プロファイル テンプレートを削除できます。

手順

ステップ 1 削除する UDP テンプレートを検索します。

ステップ2 表示されたテンプレートのリストから、削除するテンプレート名をクリックします。

選択したテンプレートの詳細が [UDPテンプレートの設定 (UDP Template Configuration)] ウィンドウに表示されます。

(注) テンプレートを削除するには、テンプレート名の横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

ステップ3 それが削除するテンプレートであることを確認して、[削除 (Delete)] をクリックします。削除操作の確認を求めるメッセージが表示されます。

ステップ4 [OK] をクリックして、テンプレートを削除します。
[UDPテンプレートの検索/一覧表示 (Find and List UDP Templates)] ウィンドウのテンプレートリストからテンプレート名が消去されます。

関連トピック

[ユーザ デバイス プロファイル テンプレートの検索 \(1 ページ\)](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。